

令和 7 年 7 月 1 1 日

## 盛岡・紫波地区環境施設組合地球温暖化対策実行計画

### 進捗状況について

地球温暖化対策実行計画（以下「本計画」という。）とは、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「法」という。）第 21 条に基づき都道府県及び市町村に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出量の削減のための措置に関する計画（以下、実行計画という。）に基づき平成 30 年 4 月に策定しました。当組合の事務事業の実施に当たっては、本計画に基づき温室効果ガス排出量の削減目標の実現に向けてさまざまな取組を行い、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。

本計画で削減対象とする温室効果ガスは、法で定められた削減対象となる二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ ）、メタン（ $\text{CH}_4$ ）、一酸化二窒素（ $\text{N}_2\text{O}$ ）、ハイドロフルオロカーボン（ $\text{HFC}$ ）、パーフルオロカーボン（ $\text{PFC}$ ）、六フッ化硫黄（ $\text{SF}_6$ ）の 6 種類のガスのうち、二酸化炭素のみ排出しているため、二酸化炭素を対象としております。

本計画は基準年度を令和 4 年度とし、計画期間を令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間、目標として令和 9 年度（最終年度）の二酸化炭素の排出量を基準年度（4 年度）比 5 % 減としています。

令和 6 年度の二酸化炭素排出量は 13,682 t- $\text{CO}_2$ /年で、基準年度（24,640 t- $\text{CO}_2$ /年）比約 44.47%減となりました。この原因としては、基準年度と比べてコークスを始めとするエネルギー使用量の減が起因と考えられます。

今後ともエネルギーの削減により二酸化炭素排出量を減らしていきたいと考えます。